

「私が入会を決めた理由」入会后感想文よりー世界に通じる力を育てるー第 89 号

メルマガご愛読の皆様、こんにちは。NPO 法人多言語広場(ピアザ)CELULAS の尾本です。

(以下セルラスと表記します)

令和が始まってすでに 2 カ月。

すっかり『令和』という響きにも慣れて、パソコン変換などでも一発で漢字が出てくるのがなんだか嬉しい最近です。

セルラスでは春から全国各地で講演会を行っています。

今回のメルマガは 2 月に大阪で行われた講演会に参加され、セルラスにとっては令和初入会をされたご家族のお母さんが書かれた感想文です。

驚いたことに彼女は私たちが多言語習得を行うための基盤としている「ノームチョムスキー理論」を学生時代に学ばれた方でした。

セルラスが活動を始めて 17 年。

『令和』の訪れと共に、そのような方が入会されたのは、不思議なご縁と思わずにはられません。

どうぞ最後までお読みください。

『これから必要な力が育つ環境がココにある』

宝塚市在住 向山 直美さん(家族構成：夫・長男 4 年・次男 2 年)

セルラスを知ったきっかけは、講演会のチラシでした。

そこには多言語習得のこと、そして世界に通じる力を育てると書いてありました。

一体どのようにして多言語を習得するのだろうか？世界に通じる力って？と興味を持った私は講演会を聞きに行くことにしました。

【講演会で聞いたこと】

講演会の中で最も印象的だったのは、様々な言語にはリズムとメロディーがあるという話でした。

1 つ 1 つの単語の意味や発音、文法にとらわれず、耳から入ってくることばのメロディー・リズム、

そしてそれにマッチした場面を体験することで赤ちゃんたちはことばが出来るようになっている、

という話を聞き、自分の子供がことばを覚えていく様子を思い出してとても納得することができました。

更に私は理事長が講演の中で話されていた、ノームチョムスキーの言語理論を、学生時代に学んでいました。

チョムスキーの言語理論を知った当時は、

- ・生まれながらにして人は言語を持っているのではなく、環境で言葉が獲得されていく
- ・いつでも環境さえ整えられたら、どんな言語の習得もできる

という理論に希望さえ抱いたのを覚えています。

しかし同時に、チョムスキーが提唱しているにもかかわらず、私たちが「外国語」というものにこんなにも苦戦している現実には苛立ちを感じていたのも思い出されました。

【体験会で見たものは…】

講演で話されたことが、本当にあり得るのか？実際どうやっているのか？

さらに子供たちが多言語習得活動を通してコミュニケーション力を身につけ、それによって世界が広がるということに、大きな可能性を感じました。

そして家族で体験してみたいと思い、体験会に申し込みました。

実際体験会に参加をすると、そこには驚くべき光景がたくさんありました。

子どもが一人で司会進行をしていたり、「〇〇やりたい人」と声をかけるとほとんどの人が「はい！」と臆することなく手を挙げていたりして、1人1人が能動的にやっていました。

さらに、子供たちが多言語ロールプレイをしたり、大人もそれに加わったりしているのを見て、大人も子供も多言語が身近に思えるようになる環境に魅力を感じました。

また、ことばが出なくても、言語のメロディーをなんとなく口ずさみながらジェスチャーもやって伝えようとしている姿を見て、

「ああ、言語の獲得ってこういうことだな〜。」と感じました。

ことばを風景とメロディーで理解し、表現していくところを実際に見て、我が子や自分も、こういう環境で成長していきたいなと思いました。

さらにメンバー全員がまるで家族のようで、小さい子からシニアの方までがお互いにしっかりとコミュニケーションをとっていました。

初めて会う私達にも家族のように話しかけてくれ、息子たちもセルラスの子たちに引っ張られて、あっという間に輪に入っていました。

【入会を決断するまでの葛藤】

体験会ではみんなの輪に入って楽しそうにしていた息子たちでしたが、

「僕にはできない、できるようにはならない。」

と言って入会することを反対しました。ですので、入会をするかどうか正直かなり悩みました。

ただ、私自身がやりたい！と思ったこと、そして多言語を身につけることだけではなく、

『人前で発言したり、何かを表現する機会』

『年齢や性格も様々な人たちとのコミュニケーションが必要となる環境』

これらがセルラスにはあり、そしてこういう環境だからこそ、人前でも臆することなく発言できたり、コミュニケーション力も育つのだと思いました。

さらに子供たちがだんだんと親から離れていく年齢だからこそ、家族で取り組めるこの活動が、家族のコミュニケーションに繋がると感じ、入会することを決断したのです。

【これからの期待】

入会してまだ2カ月の私達ですので、まだまだ口からことばが出てきませんし、みんなの前で自己紹介するのも、緊張して声が小さくなってしまいます。

最初入会を反対した息子たちでしたが、周りのメンバーが堂々と自己紹介をする姿、話したいことがうまく言えなくても焦らずじっくり考える姿勢、そしてジェスチャーやことばのリズムでとにかく伝えようとしている姿などをよく見ていて、たくさんの刺激を受けているようです。

私は子供たちが大人になった時に、コミュニケーション力とリーダーシップは必ず役に立つと思っています。セルラスにいる子どもたちはどんな国の人とも臆することなくコミュニケーションがとれ、さらに自分を表現する方法を知っているのだと感じます。そして、言語と共にそれらが育つ環境がセルラスにはあり、私達もみんなと同じように成長できるのではないかと考えています。

今はまだいろいろなことに自信が持てない私たちですが、続けていくことで、いつか自信が芽生え、ピアザのメンバーのように堂々と人前で表現できる日が来るのではないかと期待しています。

いかがでしたでしょうか？

「子供が離れていく年齢だからこそ、家族でやる活動を」というお母さんの想いがとてもすてきですね。

コミュニケーション力の基本は“家庭”である、と私たちはよく言っています。この活動を通して、家族の、そして親子のコミュニケーションがより活発になり、その力が育っていくことが楽しみです。

★メルマガをお読みになった皆様のご意見、ご感想を是非お寄せください。
今後の配信の参考にさせていただきます。
アドレスはこちら → kouhou@celulas.or.jp

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、イベントに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、3週に1回の予定でお届けします。

☆—————☆

世界に通じる力を育てる

NPO 法人 多言語広場 CELULAS

TEL:03-5333-8202

☆—————☆